

広報うらやす

主な内容

特集 美しい地球を未来へ……………1～2
環境フェアほか……………3
6月1日は景観の日……………4
子育て支援行動計画の進捗状況……………5
住民税は期限内の納付を………6

市の人口と世帯 人口＝163,432人（＋488）男＝81,933人（＋257）女＝81,499人（＋231）世帯数＝72,643世帯（＋275）平成21年4月末現在（ ）は前月比



現在のわたしたちの生活は、経済の成長に伴い、とても便利で豊かになりました。しかし、その一方で、物をたくさん作り、たくさん買って使い、たくさん捨てるといった生活様式が、ごみ問題や大気汚染などの身近な環境問題から、地球温暖化のような地球規模の問題までを引き起こしています。

掛けがえのない地球を守り、良好な環境を未来のこどもたちへ引き継ぐため、わたしたちにとって身近な環境問題であるごみ問題で、わたしたちができることを今一度考えてみましょう。

「もの」を大切に
心を伝えたい
おもちゃの病院うらやす
代表 木原 敏明さん

壊れたおもちゃの修理を通して、物を大切にする心を多くの方々に伝えようと、活動を続けている市民団体「おもちゃの病院うらやす」の代表を務める木原敏明さんにお話を伺いました。

心を入れて修理しています
最近では、おもちゃが壊れたらすぐにごみとして捨ててしまおう方が多く、とても残念です。修理したらまた使えるようになるおもちゃはたくさんあります。そんな一方で、大切なおもちゃを修理にあずけて帰るのをさびしがるお子さんもあるんですよ。そ

美しい地球を未来へ ごみを減らすためにわたしたちができること

のお子さんにとっては、世界にひとつだけの宝物なんですね。お預かりしたおもちゃを一つひとつ、心を込めて修理をし、市民の方々やお子さんに「もの」を大切にすることを伝えていけたらと思っています。

お客さまの喜ぶ顔が一番の喜びです

お客さまに直したおもちゃをお返ししたとき、目を輝かせて喜んでくれるんです。そのときは、活動を続けてきて本当に良かったと思います。

最近では、亡くなったご主人からのプレゼントだという古い人形をお預かりしました。直した人形をお渡ししたときに、それはそれは喜んでいただきました。わたしたちにも、「思い出し」を大切にする心が伝わってきてとても感動しました。

おもちゃの病院うらやすの活動日程ほか

時・所 第1土曜日・ビナスプラザ、第4日曜日・中央公民館 ※時間はいずれも午後1時～3時。予約は不要。修理代は無料ですが、別途部品代がかかる場合があります 問 木原 ☎050・3349・3108

特集は2ページへ続く

こんにちは市長室です。

「最悪を想定し、楽観的に行動せよ。」

危機管理に当たっての心構えを、よくこのように言いますが、市役所はこの1～2カ月間、新型インフルエンザの情報収集から始まり、予防対策、広報など、担当部署ではゴールデンウィーク返上で、その対応に追われていました。

この欄でも昨年の8月、「新型インフルエンザとタスクフォース」と題して、注意を喚起するとともに、市も対策に機敏に動き出したとこの内容で取り上げましたが、当時想定していた新型インフルエンザは、東南アジアから来るであろう「鳥インフルエンザ」でした。

しかし、予想に反して世界を震撼させたのは、メキシコからの「豚」を媒体とするウィルスによるものでした。

市では昨年の7月末に、プロジェクトチームよりも機動性が高く、一般的には機動部隊とも訳す「タスクフォース」を危機管理監を中心に立ち上げ、ほかの市に先駆けて12月には「新型インフルエンザ対処行動計画」を策定し、有事に備えてきました。

「鳥」から「豚」に変わったものの、現在までこの対処行動計画に基づいてさまざまな手を打ってきています。そもそも国際機関のWHOも、国の厚生労働省も、「強毒性」の鳥インフルエンザを想定し、計画を進めてきましたが、今回のように「弱毒性」による感染にとよる無理が、時間の経過とともに生じてきているのが現実です。

このような状況のなかで、5月19日の朝、新型インフルエンザ対策本部による関

係職員会議を急ぎよ開催しました。

議題は、翌日の20日に出席する予定の、本市の中学校の修学旅行を自粛させるべきか、否かでした。

続行か、延期か、中止かの議論が交わされましたが、テレビなどマスコミでは、続々と中止の報道がなされていきました。

その一方で、舛添厚生労働大臣が対策を緩める方向性を示唆するなどの報道も出始めました。

さらに、毎年の季節性インフルエンザとの比較なども報道され始め、対策本部では最終決定を迫られるなかで、私もできる限りのルートを使い、最新の情報を医学的な見地も含めて収集しました。

危機管理の心構え

KEY WORD

その結果、新型インフルエンザでは慢性疾患を持つている感染者の重篤化が心配されていきましたので、ぜんそくなどの持病を持つ生徒や、比較的体力が弱い障がいを持つ生徒には、N95という国際基準のウィルスを通さない特別なマスクを用意するなど、できる限りの対策と帰ったあとの対策も十分検討したうえで、一生の思い出となる修学旅行をさせようとの結論に至りました。なお、今後の修学旅行については、柔軟に対応してまいりたいと考えています。

現在の第一波は、高温多湿の梅雨と夏というウィルスの活動が弱まる環境に向かいですが、今年の秋から冬の第二波で、かつ強毒性に変異したときが正に正念場と考え、対策を練っているところです。

松崎 秀樹

捨ててもごみはなくなるらない

捨ててもごみはなりません。市のごみの現状を知っていただき、みんなでごみの減量に取り組みましょう。



市のごみの現状

ふだんの生活のなかで出るごみの量

平成19年度に、家庭から出されたごみは、1人1日あたり662グラムでした。市全体では、1日で105トンもの家庭ごみが出ています。

ごみ処理にかかる費用

平成19年度の市内のごみ処理費用は、市民1人あたり年に約1万3000円で、市全体では約19億9910万円でした。

残ったごみ（灰）は市外の最終処分場へ

ごみを燃やしたあとに残った灰の一部は、エコセメントにリサイクルしていますが、それでも最後には埋め立て処分をしなければならない灰が残ってしまいます。

残った灰は、市内に最終処分場がないため、現在、茨城県にある最終処分場で埋め立て処分をしています。しかし、現在の処分場もいずれは使えなくなってしまいます。

このように、ごみの処理には多くのコストとエネルギーがかかるうえに、最終処分場には限りがあるため、ごみを減らさなくてはならないのです。



市の取り組み

市では、ごみの減量化に向けて、つぎのような取り組みを行っています。

しかし、市での取り組みだけでは、ごみは減量できません。皆さん一人ひとりの力が必要です。

- マイバッグの配布
- 生ごみ処理機購入費の補助
- 出前ピーナス講座（ごみの減量に関する周知・PR）
- ピーナスニュース（ごみの減量に関するPR・情報誌）の発行
- 廃食油と古着・古布の回収
- 飲料用紙パック・白色発泡トレーなどの拠点回収



①マイバッグ



②廃食油の回収



③拠点回収



まずは1人1日70グラムの減量を ～4Rでごみ減量作戦



市では、「1人1日70グラムのごみの減量」を「浦安市一般廃棄物処理基本計画」で目標に定めています。

ごみを減らすためには、一人ひとりの行動が大切です。つぎの4Rをふだんの生活のなかで実践し、まずは1人1日70グラムの減量を目指しましょう。

①リフューズ（Refuse＝ことわる）

ごみになるものを家庭に受け入れない、環境に悪いものを拒否するという意味です。

- 買い物には、買い物袋（マイバッグ）やかごを持っていき、レジ袋や過剰な包装は断りましょう
- 弁当を買って、家で食べるときは、割りばしや使い捨てスプーンをもらうのを断りましょう

②リデュース（Reduce＝少なくする）

ごみを減らすという意味です。なるべくごみが出ない買い物をするのが、リデュースの基本です。

- 洗剤やシャンプーは詰め替えのものを選びましょう
- 食品・商品の買いすぎに注意しましょう

③リユース（Reuse＝再使用する）

繰り返し使用することがリユースです。

- 弁当箱、水筒、はしなどは、洗って繰り返し使用できるものを使いましょう
- 古着や生活雑貨など、不用になったものは、ピーナスショップやリサイクルショップなどを活用しましょう

④リサイクル（Recycle＝再生利用する）

いらなくなったものを捨てるのではなく、資源になるものを分別して、さまざまな形に再生して利用することです。リサイクルは、それ自体が目的ではなく、あくまでごみを減らすためのひとつの手段です。4Rのなかでは優先度が最も低く、いわば最後の手段なのです。

- 飲料用紙パックやトレーなどはスーパーや公共施設にある回収ボックスを利用して資源として出しましょう
- びん、缶、ペットボトル、紙類などは分別して回収日に出しましょう
- リサイクルされた商品を購入し、資源を循環させましょう



70グラムってどれくらいの量？ ～組み合わせてみましょう

○リフューズ.....

買い物のときにマイバッグを使い、レジ袋を断る→レジ袋1枚5～10グラム減量
割りばしを断り、洗って使えるはしを使用する→1膳6グラム減量

○リデュース.....

洗剤やシャンプーは詰め替えのものを選ぶ→1パック60グラム減量
買いすぎ、作りすぎに注意する→納豆1パック45グラム減量

○リユース.....

古着を捨てずにリサイクルショップを活用する→Tシャツ1枚140グラム減量

○リサイクル.....

資源ごみに出す→新聞1日分140グラム、牛乳パック1リットル1本25グラム、ペットボトル500ミリリットル1本28グラム減量

ほかにも減量できそうなものがあれば、重量をはかりで測り、どのくらい減量できるか試してみましょう。

※ここで紹介した重量は目安です。大きさや素材などで異なります

レジ袋は
いりません

